

適正在庫を保つための在庫管理のポイント

～欠品を防ぎながら、滞留在庫・過剰在庫を削減する～

□日 時：2019年10月11日(金) 10:00～17:00 (6H)

□講 師：株式会社アティックフェイス
代表取締役 ^{あら や とし や} 顯谷 敏也 氏

□会 場：本会関西本部内 専用教室 (下記案内図参照)
大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル内

□主 催：一般社団法人 日本経営協会

□開催にあたって

多くの企業にとって、欠品を防ぐために在庫を確保しておくことは必要ですが、在庫管理のやり方によっては滞留在庫や過剰在庫が発生する場合も多くみられます。特に、近年の他品種小ロットが要求される状況では、生産や物流といった現場だけでなく、企業財務においても在庫管理は重要な課題となっています。

本セミナーでは、まず在庫管理の意義や必要性を説明した上で、実際に在庫管理を行うための実務手法について学んでいただきます。やみくもに在庫を削減するのではなく、納期遅延や欠品リスクを回避しながら適正在庫を保つための仕組みづくりから、在庫管理における留意ポイントまでを解説いたしますので、自社の在庫管理にお悩みのご担当者の皆様におすすめいたします。

講師紹介

株式会社アティックフェイス
代表取締役 ^{あら や とし や} 顯谷 敏也 氏

関西大学大学院 工学研究科、関西学院大学MBA 修了。シャープ株式会社にて、ソフトウェア・エンジニアとしてプリント基板設計用のCADシステムの開発・マネジメント業務に15年に渡り携わった後、全社緊急プロジェクトチームにて、当時世界最大規模の液晶テレビ工場である亀山工場の立上げ、海外生産拠点の生産性指導・現地教育・システム構築などに10年以上に渡り従事。システム開発部門の室長、部長を歴任し、13年以上のマネージメント・キャリアを有す。

2012年に中小企業診断士として独立後、製造業を中心に「原理・原則」に基づく経営改善・現場改善指導を行うとともに、研修機関等での人材育成・教育に重点を置いた活動も展開。2017年より兵庫県立大学 経営研究科 教授。

■ 申込要領 ■

参加料 (1名につき)：

	本会会員	一般
参加料	30,000円	35,000円

※参加料には、別途消費税がかかります。

申込方法：

- 裏面の参加申込書に必要事項を記入のうえ、FAX等にてお申込みください。追って、請求書と参加券をご派遣責任者までお送りいたします。参加料は開催の3営業日前までに必ずお振込みください。(経理処理の都合等にて遅れる場合にはご一報ください。)
- 領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきますのでご了承ください。
 - 開催3日前までに参加券が届かない場合は、恐れ入りますがご連絡ください。
 - 振込み手数料は貴社(団体)にてご負担ください。

WEBお申込みのご案内

本会ホームページからも、セミナーご参加のお申込みが可能です。お申込みが完了しましたら、ご確認メールをお送りいたします。

WEBお申込みの流れ

- 1 一般社団法人日本経営協会 ホームページ <https://www.noma.or.jp>
- 2 「セミナー/講座」を選択
- 3 「セミナー」を探しよりカテゴリーを選択
- 4 ご希望セミナーを検索
- 5 ご希望セミナー詳細の最後の「WEB申込」からお申込み
- 6 お申込みをいただきますと、確認メールが届きます
- 7 お申込み完了

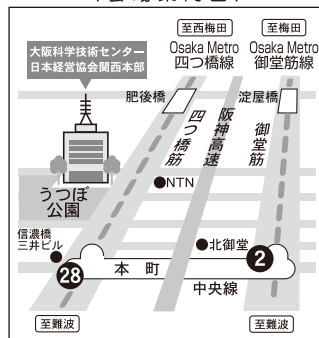
キャンセルについて：

開催日の3営業日前からは受講料(税込)の30%、開催当日は100%をキャンセル料として申し受けます。なお、当日までにご連絡なくご欠席の場合も、100%のキャンセル料となりますので、あらかじめご了承ください。

その他：

- 教材は当日お渡しいたします。
- ご参加者が定員を超えた場合や(講師と)同業の方からのお申込みはお断りする場合があります。
- 録音・録画・写真撮影はお断りいたします。
- 受講中はパソコンのご使用をお控え願います。
- 参加者が少人数の場合、中止もしくは延期させていただく場合がございます。中止の場合は、ご入金いただいた参加料を全額返金いたします。

〈会場案内図〉



- 大阪方面よりお越しの場合
 - ▶ 四つ橋線「本町」駅下車(28号出口)北へ徒歩5分
- 新大阪方面よりお越しの場合
 - ▶ 御堂筋線「本町」駅下車(2号出口)西へ徒歩8分
- なんば方面よりお越しの場合
 - ▶ 四つ橋線「本町」駅下車(28号出口)北へ徒歩5分
 - ▶ 御堂筋線「本町」駅下車(2号出口)西へ徒歩8分

お申込・お問合せ先：一般社団法人 日本経営協会 関西本部 企画研修グループ 担当：田中
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル5階 URL <https://www.noma.or.jp/kansai/>
TEL 06(6443)6962(ダイヤルイン) FAX 06(6441)4319 E-mail ksosaka@noma.or.jp

□プログラム

1. 在庫管理の意義

- (1) 在庫の必要性
- (2) 在庫は何のためにあるか?
- (3) 在庫のメリットとデメリット
- (4) 適正在庫の考え方

2. 在庫管理の必要性

- (1) 在庫管理と流動線図
- (2) 在庫に潜む問題点
- (3) 過剰在庫が経営に及ぼす影響
- (4) 在庫管理は日数で考える
- (5) 製品ごとに実態をつかむ
- (6) 鮮度管理の重要性
- (7) 売上との関係を見る
- (8) 利益貢献度をみる

3. 在庫の見える化と在庫削減アプローチ

- (1) 在庫削減の流れ
- (2) 実地棚卸しの重要性
- (3) ABC分析による在庫状況の見える化

4. 適正在庫を目指して

- (1) 欠品と在庫圧縮は相反関係
- (2) 在庫の滞留状況を把握する
- (3) 発注から出荷までのプロセスを見直す
- (4) 発注の4つの方法
- (5) JIT方式と後工程引取り生産
- (6) かんばん方式を理解する
- (7) 在庫削減に向けた運用ルールと仕組みづくり

5. サプライヤを意識する

- (1) サプライチェーンマネジメント
- (2) サプライヤとの協力体制

6. リードタイム短縮にむけた在庫管理

- (1) 在庫とリードタイムの関係性
- (2) 生産方法による在庫の持ち方
- (3) スtockポイントを考える
- (4) BTOとCTO

7. 在庫管理のまとめ

【ケーススタディ】

□担当講師より

売り上げ拡大が難しい現在、在庫削減は利益を生む大きな武器になります。今こそKKD(勘・経験・度胸)による在庫管理を抜け出し、利益を生む在庫削減に取り組んでみませんか?
そんな儲けを生む在庫管理の手法と勘所について、スタッフ部門の方にも基本からわかりやすく解説します。

※出張研修も承っております。裏面のお申込先までお問い合わせ下さい。

(3)

FAX (06)6441-4319 一般社団法人 日本経営協会・関西本部企画研修グループ (田中) 宛

NOMA 「適正在庫を保つための在庫管理のポイント」参加申込書 (3272)		2019.10/11 30,000/35,000
(フリガナ) 会社名: 団体名	TEL () - FAX () -	ご派遣責任者:
(フリガナ) (〒) 所在地:		所属・役職:
参加者氏名	所属・役職名	ご経験年数
(フリガナ)		年 月
(フリガナ)		年 月
(フリガナ)		年 月
※Eメールで本会セミナー情報をご案内いたしますので、アドレスをご記入ください。 []		●お支払い方法 □ 銀行振込 □ その他 ご請求先(ご担当) _____ (ご所属)

参加申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。
①参加券や請求書の発送などの事務処理 ②セミナー・イベントなど本会事業のご案内 なお、②がご不要の場合は□にチェックしてください。—— □ 不要